

愛媛県の中核都市をめざした市勢の発展を



西条市議会議長
伊藤 孝司



新年明けましておめでとうございます。
希望に満ちた新春を迎えられました市民の皆様
に謹んで新年のごあいさつを申し上げますと
ともに、皆様方の御健勝と限りないご繁栄を心
よりお祈り申し上げます。

さて、年頭にあたり改めて旧年を顧みますと、
長らく低迷していた経済情勢も回復の兆しは見
られるものの、不安定な経済情勢を背景に原油
価格が大きく高騰するなど、依然として地方財
政は深刻な状況であると言わざるを得ません。

昨年十一月一日には、最大の行政課題であり
ました二市二町の新設合併も実現し、新生西条
市として新たな一步を踏み出しました。

私は、はからずも議員各位のご推挙により、
初代議長に就任いたしました。誠に身に余る光
栄でありますと同時に、その責任の重大さに身
の引き締まる思いでいっぱいであります。

新「西条市」は、人口十一万七千人と県下第
四位の人口を擁し、製造品出荷額は五千八百四
十六億円で県下第一位を誇る一大都市となりま
した。近年、地方自治体を取り巻く環境は一段
と厳しさを増し、少子高齢化社会への対応や地
域経済の再生、緊急の課題としては、台風被害
からの早期復興と災害に強いまちづくりなど、
取り組むべき課題が山積しております。地方分

権が進み、「三位一体改革」の具現化が進む現
在、まさに行政と議会の真価が問われるところ
であります。

「人がつどい、まちが輝く、快適環境実感都市」
の実現と、二市二町のそれぞれの持つ特色を生
かした幅広い視野に立ち、愛媛県の中核都市を
目指した市勢の発展と円滑な議会運営に全力を
傾注する所存であります。

議会といたしましても、市民生活の向上や市
民福祉のまちづくりのため、議会本来の使命で
ある行政のチェック機能の強化を図ることはも
ちろん、理事者と議会が力強い協力のもと、市
民の皆様方の期待にこたえなければならないと
考えております。

本年もどうかご支援、お力添えを賜りますよ
うお願い申し上げます。

最後になりましたが、この新しい年が、皆様
にとって良き年でありますよう心からお祈り申
し上げまして、新年のごあいさついたします。

新年のおよろこびを申し上げます

平成十七年元旦

市議会議員一同